

序

厚生省児童家庭局母子衛生課の心身障害研究課題小児慢性疾患運動器系に関する研究は、昭和53年度より、小児パラプレジアを対象とした研究テーマで発足、昭和55年度は次のような研究テーマで行われた。

1. 脊椎先天異常に伴う脊髄障害に関する研究

研究班員 小野村 敏 信 (大阪医大整形外科)

2. Spinal dysraphismの実験的研究

研究班員 金 田 清 志 (北大整形外科)

3. 脊椎異常にもとづく小児パラプレジアの病因と対策

研究班員 山 内 裕 雄 (順大整形外科)

4. 小児パラプレジアの病因と治療に関する研究

研究班員 山 本 博 司 (高知医科大整形外科)

5. 小児パラプレジアの病因と治療に関する研究

研究班員 山 口 和 郎 (横浜市大脳外科)

6. 小児パラプレジア症例の臨床像と療育状況の調査

研究班員 村 地 俊 二 (愛知県心身障害コロニー)

7. 小児期悪性腫瘍術後の脊柱変形の発生 — 小児パラプレジアの病因として —

研究班員 大 塚 嘉 則 (国立千葉東病院)

8. 小児パラプレジアの病因と治療に関する研究(その4)

研究班員 井 沢 淑 郎 (神奈川県立こども医療センター)

9. 小児パラプレジアの神経障害の診断について

— Spina bifidaのmetrizamide myelographyについて —

研究班員 山 下 武 広 (千葉市立病院整形外科)

10. 脊髄誘発電位の実験研究及び臨床応用

研究班員 竹 光 義 治 (旭川医大整形外科)

11. 小児水頭症における脳幹機能と両側性下肢運動障害について

— 聴性脳幹反応(ABR)とblink reflexによる評価 —

研究班員 喜多村 孝 一 (東京女子医大脳神経センター)

12. 脊椎披裂によるパラプレジアの予後 — 特に脊髄髄膜瘤を中心に —

研究班員 高 橋 英 世 (千大小児外科)

1 3. 筋の脊髄神経支配レベルに関する考察

研究班員 高橋 勇 (独協医大)

1 4. 小児パラプレジアのリハビリテーション

研究班員 陣内 一保 (神奈川県立こども医療センター)

1 5. 超低圧用プレスケールによる足底圧測定に関する研究

研究班員 山根 友二郎 (帝京医大整形外科)

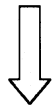
1 6. 小児パラプレジアに対する補装具の評価と工夫

研究班員 渡辺 英夫 (佐賀医大整形外科)

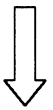
本報告書はこれらの研究班の昭和55年度の研究成果をまとめたものである。多くの注目すべき知見が含まれており、各方面の御活用を期待したい。

昭和56年4月

千葉大学教授 井上 駿 一



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



序

厚生省児童家庭局母子衛生課の心身障害研究課題小児慢性疾患運動器系に関する研究は、昭和 53 年度より、小児パラプレジアを対象とした研究テーマで発足、昭和 55 年度は次のような研究テーマで行われた。